第62回臓器移植委員会
資料２
２０２３．３．６

国内の移植推進に向けた日本移植学会の取り組み

（一般社団法人）日本移植学会理事長
江川　裕人

我々がよって立つところ

日本国憲法第二十五条

(1) すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

(2) 国は、すべて の生活部面について社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

臓器移植法

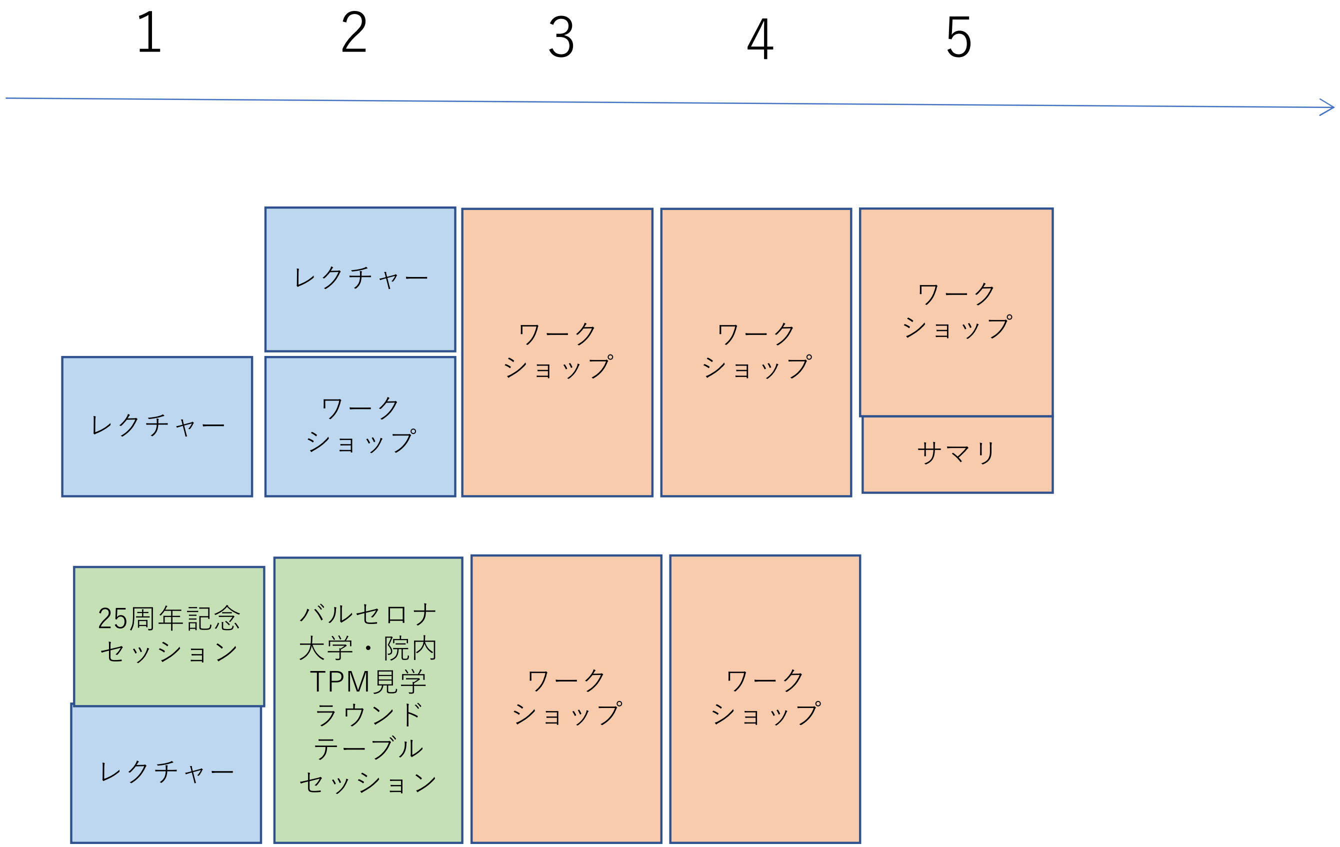
基本的理念

第２条

死亡した者が生存中に有していた自己の臓器の移植術に使用されるための提供に関する意思は、尊重されなければならない

DTI 25th anniversary in 2016

DTI Advanced International course



DTI　Advanced International course

- 集中治療医が主たる参加者
- 政府から、集中治療医、コーディネーター、管理者がセットで派遣されている
- その国にあったシステムを自分たちで構築するすべを教える
- 一人でやってつぶれないシステムを推奨
- 最も大切なことはコミュニケーション能力
- これまでに日本人は50人以上参加している
- 参加国のなかで、日本を除くすべての国で指数関数的に提供数が増加した

スペインＴＰＭに属する集中治療医の考え方

1. 決して遺族に強要はしない
2. 徹底的に患者と家族に寄り添う
3. 臓器提供をとおして臓器不全患者を救命している
4. 臓器提供は善である
5. 死者・遺族の希望を叶える手助けをしている
6. ドナー候補者認定から摘出に至るまでが職務

なぜTPMに参加しても日本は増えなかったのか？

- ほとんどコーディネーターが単独で参加している
- 医師では、5名ほどの若い集中治療医がそれぞれ単独で、また1名若い腎臓内科医と１名のベテラン公衆衛生医が訪れていた
- 個人の努力で地域で一時的に臓器提供が増えたことはあったが

組織や社会の仕組みを変える力がなかったためにに自然消滅か熾火状態になった

帰りの飛行機で考えた
組織や社会の仕組みを変えるための
やることリスト

- 行動変容
  - 救急現場の医療者の**たましい**に訴える
- システム設計
  - 過去のDTI参加者から人選し、核となるチームを作り、DTIに派遣する
- 社会実装
  - 救急関連学会主導で厚生労働省研究事業を立ち上げる

救急現場の医療者のたましいに訴えるには普遍的行動原理が必要

集団ごとの行動原理 → 普遍的行動原理

- 救急関連学会理事長へ挨拶
- 情報共有
  - こちらから出かける：提供関連学会へのブース展示
  - 招く：移植学会で講演してもらう
- 移植医療の喜びを分かち合う
- 救急現場の痛みを移植医が共有する
- 対話

Site visit to study development of TPM

カタルーニャ州

ジローナ県

精霊浜松病院　渥美先生のスライドからヒント

意識改革：なぜ臓器移植するんですか？

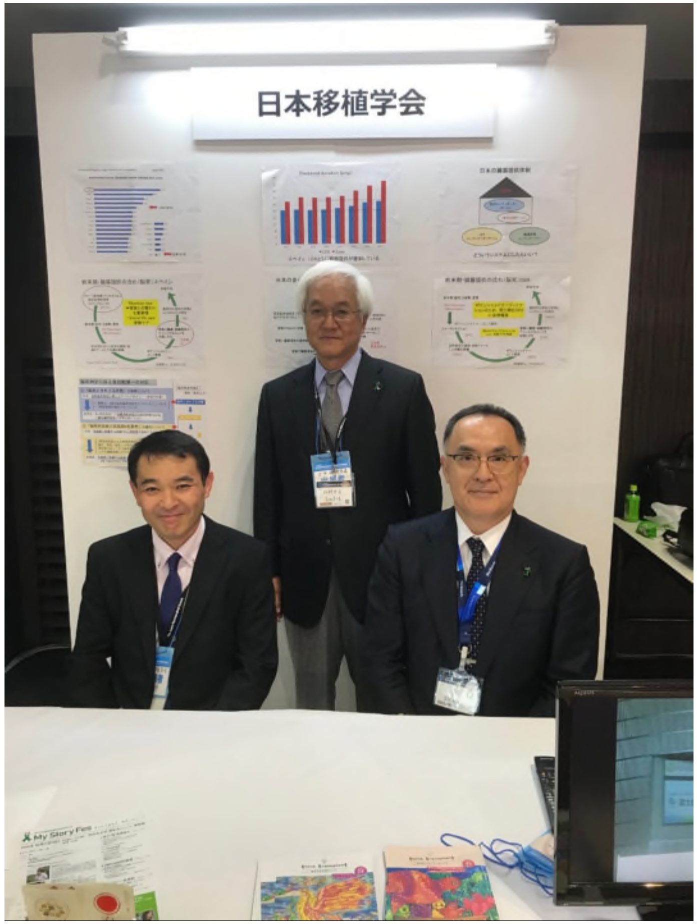
「臓器不全の患者を助けるため」
から
「誰かのためになりたいという患者の思いに応えるため」へ

- 提供の希望を叶える
- 移植臓器を健やかに一日でも長く生かす

こちらから出かける：提供関連学会へのブース展示

日本救急医学会　名古屋

日本脳神経外科学会　　仙台

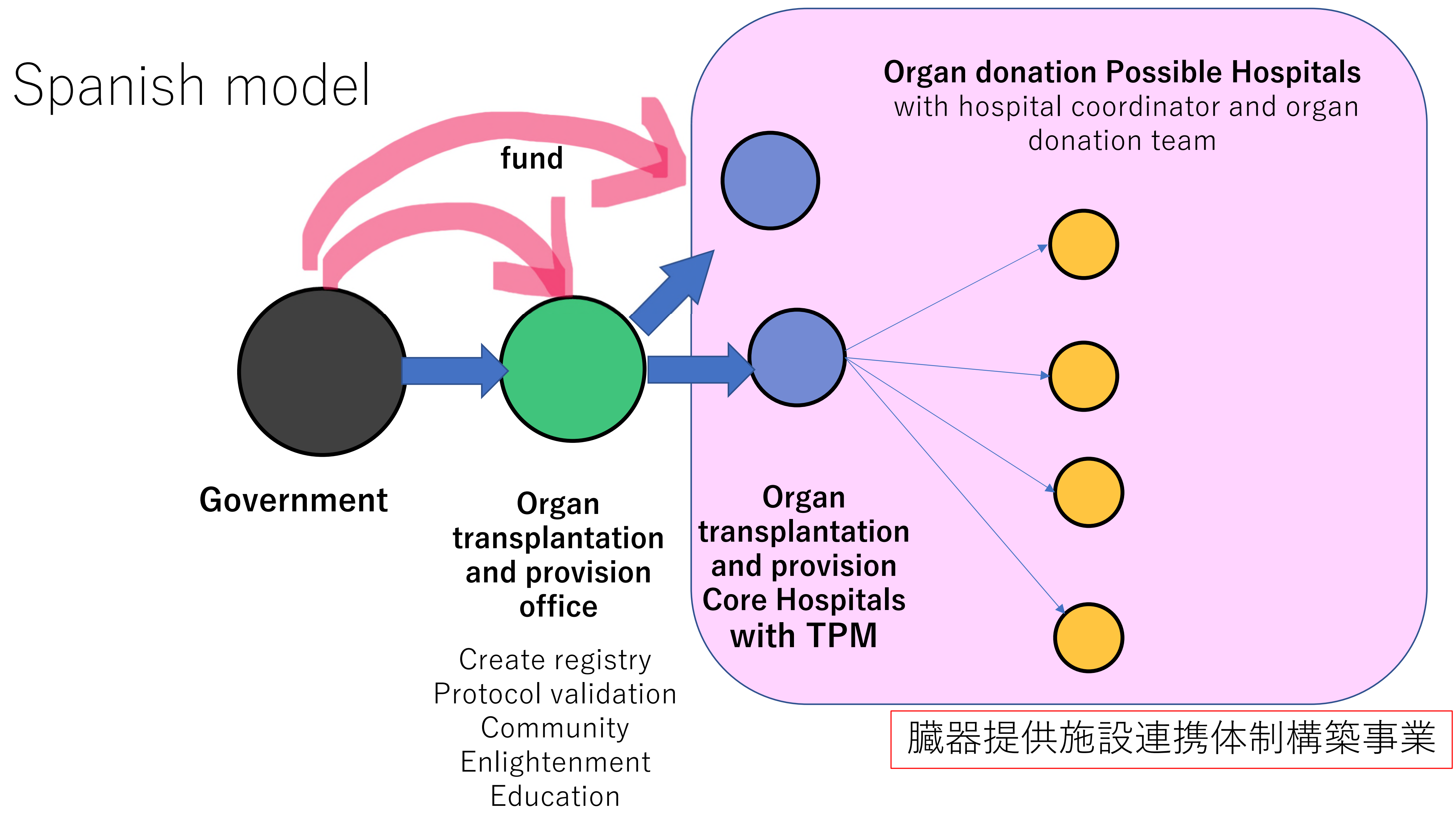


持続可能性なシステム作りのための情報収集

過去のDTI参加者から人選し核となるチームを作りDTIへ派遣

- チーム編成
  - 救急医　２名
  - 腎臓内科医
  - 県コーディネーター

- 調査ミッション
  - Human sources
  - Structures
  - Finance


Spanish model
fund
Organ donation Possible Hospitals
with hospital coordinator and organ donation team
Government
Organ transplantation and provision office
Create registry
Protocol validation
Community
Enlightenment
Education
Organ transplantation and provision Core Hospitals with TPM
臓器提供施設連携体制構築事業

OCATT

Organitzacio CATalana de Transplantaments

OCATT. Organització Catalana de Trasplantaments
4月10日 21:56 ·

Aquest matí hem rebut una delegació de metges del Japó 🇯🇵 que tenen l'objectiu d'adaptar a la seva realitat, amb el suport de **Transplant Procurement Management**, un sistema similar al nostre model de trasplantaments. 👉 Experiències enriquidores i coneixements interessants per ambdues parts! Gràcies per visitar-nos!... もっと見る

翻訳を見る

2018 Education

医学教育改革
医学教育モデル・コア・カリキュラムに移植医療と臓器提供を入れる

日本移植学会について

- ミッション：臓器不全患者さんが移植を受け安心して人生を全うできる社会づくり
  ⇒　移植へのアクセス整備
  臓器提供環境整備
  医療技術革新
  人材育成・教育
  社会インフラ整備

- 臓器提供に対する取り組み
  「臓器・組織提供の患者、家族の意思を叶える」ために
  救急・集中治療・脳神経外科関連の学会と移植学会の連携

日本移植学会の責務

- 移植医療：臓器、組織等の提供者（ドナー）を必要とするという特殊性

⇒　移植医療の信頼性、透明性、説明責任の担保等の医療従事者が遵守すべき事項を明らかにした「日本移植学会倫理指針」を策定、日本移植学会会員に周知し遵守されるように努め、各施設における遵守状況を定期的に明らかにする。

<u>日本移植学会倫理指針</u>

- ✓ 死体臓器移植　（「臓器の移植に関する法律」等の遵守）
- ✓ 生体臓器移植　（ドナーの条件、自発意思の尊重、丁寧な意思確認）
- ✓ 異種移植
- ✓ 医療情報の登録と患者個人情報
- ✓ 臨床研究
- ✓ 臓器売買の禁止（臓器売買を斡旋するものに患者を紹介することの禁止　等）

⇒　学会員が倫理指針に定める禁止条項に違反した場合の処分は、倫理委員会の議論を経て、理事会にて処分案を作成し、総会にて決定する。

イスタンブール宣言2018 ５学会共同声明（令和４年12月27日）

日本移植学会は日本臨床腎移植学会、日本内科学会、日本腎臓学会、日本透析医学会と共に、イスタンブール宣言（2018）を共同で承認し、移植の恩恵は、非倫理的行為や搾取的な行為に依存することなく最大化され、公平に、それを必要とする人々に分配されなければならないという、臓器移植専門家と関連分野の５学会の決意を表明した。

教育：医学教育モデル・コア・カリキュラム

文科省医学教育課
医学教育学会
との連携

目的:すべての医師が移植医療についての知識を持つことで
・臓器不全患者の移植医療へのアクセス確保
・臓器提供推進

日本移植学会
人材育成委員会

救急関連学会と連携

教材
Eラーニング
出前授業

臓器移植と臓器提供に関する教育の充実等について

◆ 臓器移植及び臓器提供に係る教育について積極的な取組をお願いします。

令和4年3月 厚生科学審議会疾病対策部会臓器移植員会「臓器移植医療対策のあり方に関する提言」

○ 1. 臓器移植に関する普及啓発の促進【抜粋】

短時間で効果的に授業を行うため、使用される教材等の質を確保することや必要に応じて講義が担当できる人材の派遣等ができる体制構築することが重要であり、時々の現場のニーズを的確に反映できるよう継続して資材開発を行うことが望まれる。

〇医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）＜抜粋＞

第2章 学修目標
CS: 患者ケアのための診療技能
CS-02: 患者情報の統合、分析と評価、診療計画
得られたすべての情報を統合し、様々な観点から分析し、必要な医療について評価した上で提供すべき医療を計画できる。
CS-02-04: 治療（計画、経過の評価）
CS-02-04-20 外科的治療の適応と合併症について理解している。
CS-02-04-37 主な人工臓器の種類と原理について概要を理解している。
CS-02-04-41 移植医療（臓器移植、組織移植、造血幹細胞移植等）の我が国と世界の状況について概要を理解している。
CS-02-04-42 終末期医療における臓器・組織提供選択提示の意義について概要を理解している。
CS-02-04-43 移植における免疫応答（拒絶反応、移植片対宿主病）について理解している。
CS-02-04-44 移植後の免疫抑制について概要を理解している。

SO: 社会における医療の役割の理解
SO-03: 法医学
死の判定や死亡診断と死体検案を理解する。
SO-03-01 死と法
SO-03-01-01 植物状態、脳死、心臓死及び脳死判定について理解している。

表1. 疾患
循環器系：特発性心筋症
呼吸器系：肺高血圧症、特発性間質性肺炎
消化器系：急性肝不全、肝硬変
腎・尿路系：慢性腎不全
内分泌・栄養・代謝系：１型糖尿病

◎ 授業を実施するにあたり、講師として、日本移植学会に所属する臓器移植・臓器提供を行っている医師に御協力いただけます。
実施場所、実施時間・講義内容は要望に応じていただけます。

◎ 医療者の方向けに、移植登録・臓器提供・ガイドライン・マニュアルやファクトブックを作成しておりますので、日本移植学会のHPをご覧ください。http://www.asas.or.jp/jst/

〇講義のお問合せ･お申し込み方法
（講義を準備するために、講義実施日より3ヶ月前には御依頼ください）
日本移植学会事務局 （お問い合わせ窓口）
住所:〒112-0012 文京区大塚5-3-13 4F一般社団法人学会支援機構内
TEL:03-5981-6011 FAX:03-5981-6012
E-mail:ishoku@asas-mail.jp

市民への情報提供：臓器提供普及啓発委員会の取組み

- 令和４年度
  - 臓器移植法施行25周年記念事業市民公開講座

  日本縦断６ヶ所（市民公開講座モデル大学）

  北海道大学

  福島県立医科大学

  北里大学

  藤田医科大学

  熊本大学・熊本赤十字病院

  長崎大学・琉球大学
  - 厚労科研横田班　ばんたね公開講座への協力

- 令和５年度以降

  厚労科研瓜生原班「行動科学を基盤とした科学的根拠に基づく臓器・組織移植啓発モデルの構築に関する研究」分担研究 (徳島大学消化器外科・移植外科　島田光生　教授)

  ①　47都道府県の啓発資源、活動資源についての調査実施

  ②　普及啓発マニュアル策定

  ③　各都道府県の移植施設で市民公開講座を企画・開催。

移植医がなすべきこと
臓器移植施設における臓器提供支援：　自施設から地域へ

臓器提供
事例発生時院内支援

□ 連絡調整の支援
（**家族が臓器提供に同意後**）

なすべきことを熟知している移植医による支援

- ✓ 院内各所との連携
- ✓ 手術室の調整
- ✓ 提供予定臓器の評価と全身管理のアドバイス
- ✓ 院外組織との連絡調整の支援（日本臓器移植ネットワーク、都道府県警等（搬送）臓器摘出の互助・業者搬送の支援）

院内体制整備

□ 臓器提供、移植に関わる医療従事者の活動を支援

臓器提供・移植に関わる医療スタッフが在籍する科・部署を設置し、都道府県臓器移植コーディネーター、院内臓器提供コーディネーター、レシピエントコーディネーターの活動の円滑化、院内体制整備事業・臓器提供施設連携体制構築事業の事業利用促進を図る。

【既存設置施設】藤田医科大学、北里大学、聖マリアンナ医科大学、新潟大学、東京歯科大学市川総合病院、東北大学、熊本赤十字病院等

病院内外の
臓器提供の啓発

□ 普及啓発月間

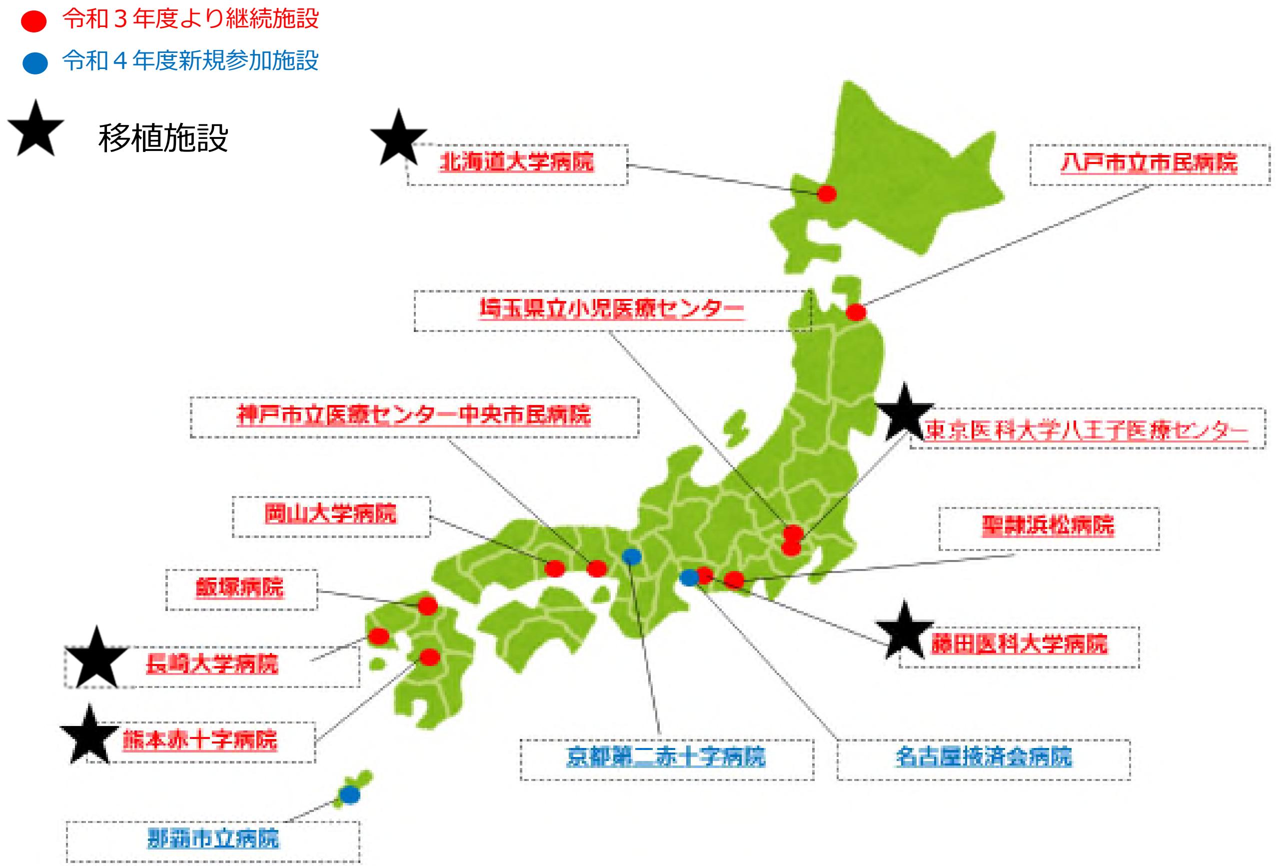
- ✓ 病院内の普及啓発
  - グリーンリボンキャンペーン
  - 病院内の臓器移植勉強会
- ✓ 病院外の普及啓発
  - 市民講座の開催

□ 地方公共団体との連携
（令和4年、移植学会臓器提供普及啓発委員会で都道府県ごとに担当者設置）

- ✓ 自治体担当者とチームづくり
- ✓ 地域の５類型施設啓発

臓器提供施設連携体制構築事業

更なる拠点施設増加に向けた取り組み



臓器移植施設において臓器提供を複数回経験している施設において、臓器提供施設連携体制構築事業の**拠点施設としての活動を移植医がサポート**し、地域の臓器提供・移植医療の活性化を目指す。

第61会厚生科学審議会疾病対策部会臓器移植委員会資料より改変

臓器提供を見据えた患者評価・管理と術中管理のためのマニュアル

臓器提供を見据えた患者評価・管理と術中管理のためのマニュアル

（付）COVID-19後の臓器提供について

重症患者の家族サポートに関する考え方

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）

「５類型施設における効率的な臓器・組織の提供体制構築に資する研究－ドナー 評価・管理

と術中管理体制の新たな体制構築に向けて」（主任研究者 嶋津 岳士・田﨑 修）

協力：一般社団法人 日本救急医学会

一般社団法人 日本集中治療医学会

公益社団法人 日本麻酔科学会

一般社団法人 日本移植学会

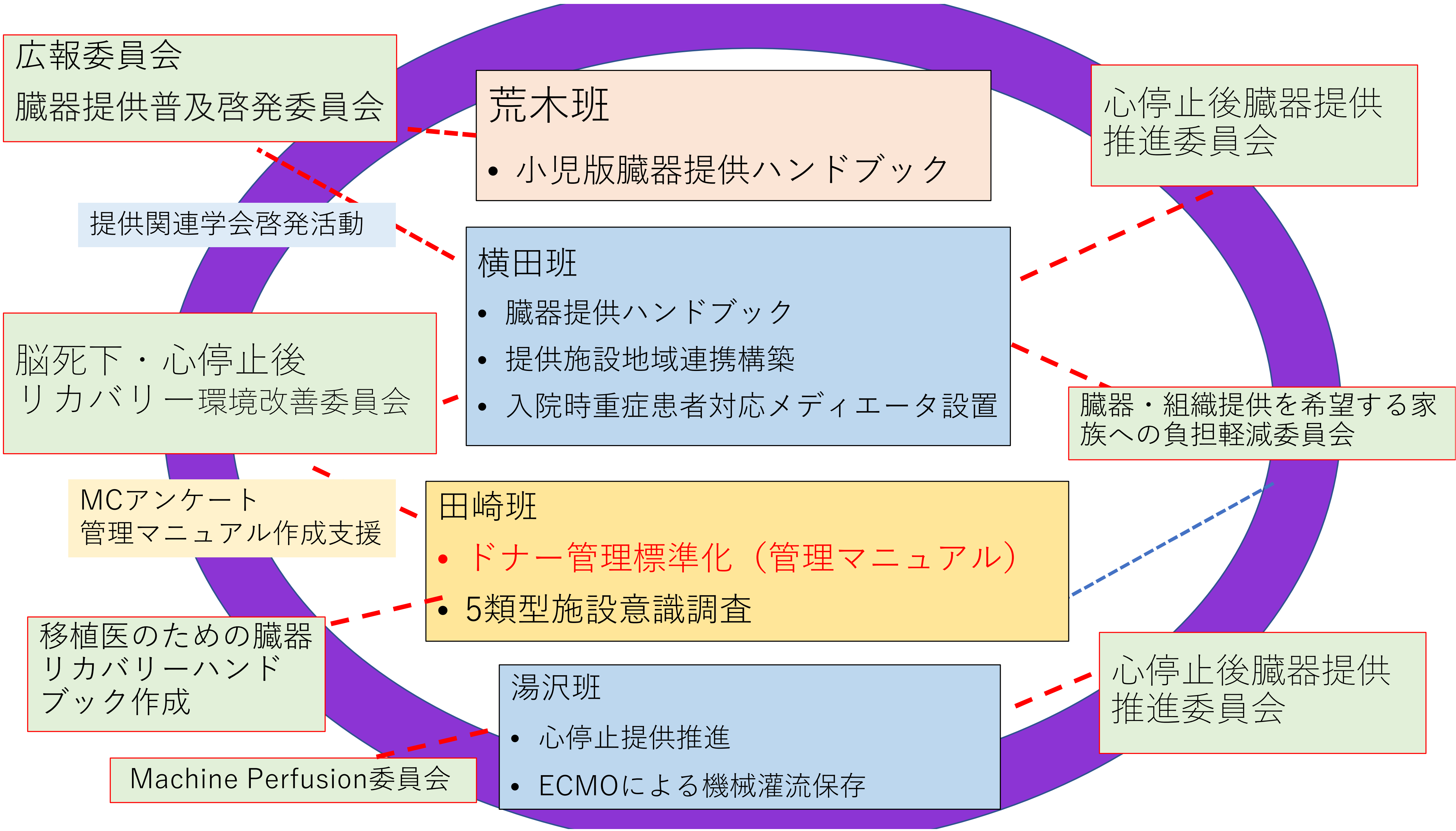
一般社団法人 日本脳神経外科学会

一般社団法人 日本組織移植学会

公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク

日本移植学会も「患者評価」「COVID-19後の臓器提供」の章で協力

聖マリアンナ医科大学心臓血管外科　縄田　寛
名古屋大学呼吸器外科　芳川豊史
国立成育医療研究センター移植外科　坂本靖介
国立成育医療研究センター移植外科　笠原群生
九州大学消化器外科　吉住朋晴
名古屋大学移植外科　小倉靖弘
藤田医科大学移植外科　伊藤泰平
慶応技術大学外科　山田洋平


広報委員会
臓器提供普及啓発委員会
荒木班
• 小児版臓器提供ハンドブック
心停止後臓器提供
推進委員会
提供関連学会啓発活動
横田班
• 臓器提供ハンドブック
• 提供施設地域連携構築
• 入院時重症患者対応メディエータ設置
脳死下・心停止後
リカバリー環境改善委員会
臓器・組織提供を希望する家族への負担軽減委員会
MCアンケート
管理マニュアル作成支援
田崎班
• ドナー管理標準化（管理マニュアル）
• 5類型施設意識調査
移植医のための臓器
リカバリーハンド
ブック作成
湯沢班
• 心停止提供推進
• ECMOによる機械灌流保存
心停止後臓器提供
推進委員会
Machine Perfusion委員会

救急・集中治療、脳神経外科領域の学会と日本移植学会の連携

教育

✓　医学教育モデル・コア・カリキュラム
　資料作成、出張講義

✓　初期臨床研修医
外科・集中治療後期研究医
内科後期研修医　　　に臓器提供・移植医療を教育

✓　看護教育に臓器提供・移植を導入

研究事業

✓臓器提供ドナーから臓器移植レシピエントまで一環したデータベースを策定し、臓器提供・移植成績の年次報告やWHO等への移植実績報告、成績向上のための研究に利用
✓厚労科研、AMED等の学会間の連携

普及啓発

✓　臓器・組織提供に関する移植の市民への啓発
　日本救急医学会、日本集中治療医学会、日本脳神経学会などと協力

移植医よ
一歩前へ
手を携えさらに広く